



平成17年2月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成17年1月7日

上場会社名 株式会社ヨ - クベニマル

(コード番号: 8188 東証第一部)

(URL <http://www.yorkbeni.co.jp/>)

問合せ先 代表者 代表取締役社長 大高 善興
責任者 取締役財務室長 三澤 隆

T E L (024)924-3211

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有・無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有・無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有・無

2. 平成17年2月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年3月1日 ~ 平成16年11月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	営業収益 [売上高]		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年2月期第3四半期	215,716	(2.5)	9,495	(3.5)	9,559	(3.4)	5,337	(4.8)
	[210,307	(2.5)]						
16年2月期第3四半期	210,383	(-)	9,175	(-)	9,241	(-)	5,092	(-)
	[205,212	(-)]						
(参考)16年2月期	284,058	(4.9)	13,284	(11.6)	13,367	(11.3)	7,405	(7.3)
	[277,092	(4.8)]						

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年2月期第3四半期	105	84	-	-
16年2月期第3四半期	100	98	-	-
(参考)16年2月期	145	41	-	-

(注) 営業収益、売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期(前期)増減率を示しております。

前第3四半期につきましては開示を行っておりませんが、当第3四半期との比較のため、同様の手続きにより作成しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

第3四半期までにおけるわが国経済は、輸出の増加や設備投資の増加などから景気は緩やかな回復基調が続いたものの、下期以降は減速傾向となりました。また、個人消費については、厳しい雇用・所得環境が続くなか消費者の購買行動は慎重なものとなり、小売業を取り巻く環境も引き続き厳しいものとなりました。

このような環境のなかで当社グループは、「小商圈で繰り返し来店されるお客さまの日常の食卓をより楽しく、豊かに、便利にする」というコンセプトの実現を目指し、「個店経営の確立」、「商品開発の強化」、そして「基本的事項(カスタマーサービス、クリンネス、鮮度と味、品切れ防止)の徹底」を基本方針として、200店舗体制に向けた組織と仕組みづくりに取り組んでまいりました。

出店につきましては、平成16年7月に「築瀬店」(栃木県宇都宮市)と「河北店」(山形県西村山郡河北町)、平成16年9月に「遠見塚店」(宮城県仙台市)、平成16年10月に「勿来江栗店」(福島県いわき市)と「白石店」(宮城県白石市)、平成16年11月に「野田店」(福島県福島市)と「新田東店」(宮城県仙台市)の計7店舗を開設する一方、平成16年10月に「亘理店」(宮城県亘理郡亘理町)を閉鎖した結果、当第3四半期末の店舗数は、みどりやスーパーの3店舗も含め、福島県54店舗、宮城県33店舗、栃木県14店舗、山形県12店舗の計113店舗となりました。

当第3四半期の業績につきましては、営業収益が2,157億1千6百万円(前年同四半期比102.5%)、経常利益が95億5千9百万円(前年同四半期比103.4%)、四半期純利益が53億3千7百万円(前年同四半期比104.8%)と増収増益となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年2月期第3四半期	140,090	114,741	81.9	2,275 46
(参考)16年2月期	135,340	111,201	82.2	2,203 75

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年2月期第3四半期	8,561	14,725	1,647	29,271
(参考)16年2月期	15,340	15,980	1,642	37,083

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは85億6千1百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益94億1千万円、減価償却費38億4千3百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、147億2千5百万円の支出となりました。これは新店及び既存店改装投資などの有形固定資産の取得による支出86億3千1百万円、及びイトーヨーカドーグループの関係会社である㈱IYGフィナンシャルセンターへの短期預け金の純増額50億円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、16億4千7百万円の支出となりました。これは配当金の支払16億4千1百万円などによるものです。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前期末に比べ78億1千2百万円減少し、292億7千1百万円となりました。

【参考】

平成17年2月期の連結業績予想(平成16年3月1日～平成17年2月28日)

(百万円未満切捨)

	営業収益 [売上高]	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
通 期	292,400 (2.9) [285,300 (3.0)]	13,900 (4.6)	14,000 (4.7)	7,780 (5.1)

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 154円 29銭

(注)営業収益、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率を示しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年2月期の業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、本資料の公表時点では、平成16年4月8日に公表した業績予想からの変更はありません。

本資料には、当社の本資料発表日時点における計画、見通し、経営計画および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この将来予測に関する記載には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績等は将来予測に関する記載とは異なる結果となる可能性がありますことを、ご了解いただきますようお願い致します。

1. 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期末 (平成16年11月30日現在)		<参考> 前連結会計年度 (平成16年2月29日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
資産の部		%		%
流動資産				
現金及び預金	26,274		37,086	
売掛金	493		395	
有価証券	2,999		-	
たな卸資産	6,782		6,331	
短期預け金	13,000		8,000	
その他	6,685		5,447	
流動資産合計	56,235	40.1	57,261	42.3
固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物	28,695		29,847	
土地	24,477		18,872	
その他	4,829		3,722	
有形固定資産合計	58,003	41.4	52,441	38.7
無形固定資産				
連結調整勘定	216		275	
その他	1,458		1,716	
無形固定資産合計	1,674	1.2	1,992	1.5
投資その他の資産				
長期差入保証金	17,120		15,951	
その他	7,358		7,996	
貸倒引当金	303		303	
投資その他の資産合計	24,176	17.3	23,644	17.5
固定資産合計	83,854	59.9	78,078	57.7
資産合計	140,090	100.0	135,340	100.0

(単位:百万円)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成16年11月30日現在)		<参考> 前連結会計年度 (平成16年2月29日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
負債の部		%		%
流動負債				
買掛金	12,775		12,009	
未払法人税等	1,594		3,353	
賞与引当金	177		1,213	
その他の	8,975		6,062	
流動負債合計	23,523	16.8	22,640	16.7
固定負債				
退職給付引当金	136		288	
役員退職慰労引当金	609		544	
その他の	1,079		664	
固定負債合計	1,825	1.3	1,497	1.1
負債合計	25,348	18.1	24,138	17.8
少数株主持分				
少数株主持分	-		-	
資本の部				
資本金	9,927	7.1	9,927	7.4
資本剰余金	12,839	9.2	12,839	9.5
利益剰余金	91,267	65.1	87,716	64.8
その他有価証券評価差額金	1,226	0.9	1,232	0.9
自己株式	519	0.4	513	0.4
資本合計	114,741	81.9	111,201	82.2
負債、少数株主持分及び資本合計	140,090	100.0	135,340	100.0

2. 要約連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別		< 参考 > 前連結会計年度	
	当第3四半期 自 平成16年3月1日 至 平成16年11月30日		自 平成15年3月1日 至 平成16年2月29日	
	金 額	百分比	金 額	百分比
[営 業 収 益]	[215,716]	%	[284,058]	%
売 上 高	210,307	100.0	277,092	100.0
売 上 原 価	150,225	71.4	198,627	71.7
売 上 総 利 益	60,081	28.6	78,465	28.3
営 業 収 入	5,408	2.5	6,966	2.5
営 業 総 利 益	65,490	31.1	85,431	30.8
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	55,994	26.6	72,146	26.0
営 業 利 益	9,495	4.5	13,284	4.8
営 業 外 収 益	130	0.0	152	0.0
営 業 外 費 用	66	0.0	69	0.0
経 常 利 益	9,559	4.5	13,367	4.8
特 別 利 益	3	0.0	10	0.0
特 別 損 失	152	0.0	288	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,410	4.5	13,089	4.7
法人税、住民税及び事業税	4,607	2.2	5,918	2.1
法人税等調整額	533	0.2	234	0.1
四半期(当期)純利益	5,337	2.5	7,405	2.7

3. 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第3四半期 自平成16年3月1日 至平成16年11月30日	<参考> 前連結会計年度 自平成15年3月1日 至平成16年2月29日
		金 額	金 額
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高		12,839	12,839
資本剰余金増加高		0	-
自己株式処分差益		0	-
資本剰余金四半期末(期末)残高		12,839	12,839
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高		87,716	82,018
利益剰余金増加高		5,337	7,405
四半期(当期)純利益		5,337	7,405
利益剰余金減少高		1,786	1,707
配 当 金		1,714	1,638
役 員 賞 与		71	68
自己株式処分差損		-	0
利益剰余金四半期末(期末)残高		91,267	87,716

4. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第3四半期 自平成16年3月1日 至平成16年11月30日	<参考> 前連結会計年度 自平成15年3月1日 至平成16年2月29日
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益		9,410	13,089
減価償却費		3,843	5,313
賞与引当金の増加額又は減少額()		1,036	87
固定資産廃棄売却損		90	142
売上債権の増加額()		97	132
たな卸資産の増加額()		450	53
仕入債務の増加額		765	993
その他		2,329	808
小 計		14,856	20,249
法人税等の支払額		6,366	4,980
その他		71	71
営業活動によるキャッシュ・フロー		8,561	15,340
投資活動によるキャッシュ・フロー			
短期預け金の増加額()		5,000	8,000
有形固定資産の取得による支出		8,631	6,141
無形固定資産の取得による支出		282	518
貸付けによる支出		1,317	186
貸付金の回収による収入		905	71
差入保証金の差入による支出		1,707	1,658
差入保証金の返還による収入		356	725
その他		951	272
投資活動によるキャッシュ・フロー		14,725	15,980
財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額		1,641	1,639
その他		5	3
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,647	1,642
現金及び現金同等物に係る換算差額		-	-
現金及び現金同等物の増減額(減少:)		7,812	2,281
現金及び現金同等物期首残高		37,083	39,365
現金及び現金同等物期末残高		29,271	37,083